



新学年がスタートしました！

子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。令和7年度のスタートです。新しい学年となり、新しい先生と出会い、気持ちを新たに今年一年を頑張っていこうという雰囲気がどの子からも感じられます。私たち教職員も気持ちが引き締まる思いです。本日の入学式で1年生20名を迎え、全校児童98名での出発となりました。「なかよし1」に7名、「なかよし2」に1名在籍しています。よろしくお願いします。



学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	20名	11名	17名	21名	17名	12名	98名



また、教職員の異動により新しいメンバーが加わりました。本年度も、お子様の健やかな成長、学力や体力の向上のために力を尽くしてまいりたいと存じます。保護者の皆様、地域の皆様には、本年度も本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

新しく着任しました



校 長	小林 祐美子	香南市立夜須小学校より
教 諭	猪野 明子	南国市立大湊小学校より
教 諭	中島 小百合	南国市立後免野田小学校より
教 諭	瀧口 善大	新規採用
講 師	吉村 昌美	南国市立白木谷小学校より
栄養講師	沖 桃子	いの町立本川中学校より
養護講師	北川 明日香	土佐市立戸波中学校より
特別支援教育支援員	岩崎 豊彦	新規採用
用 務 員	三本 良次	南国市立十市小学校より
調 理 員	窪川 朋美	新規採用



4月の予定		
10	木	新任式・始業式・入学式
11	金	交通指導 給食開始 短縮授業 地区児童会 集団下校
12	土	交通少年団入団式
13	日	
14	月	交通指導 1年下校指導 聴力検査
15	火	交通指導 田植え(5年) 1年下校指導
16	水	交通指導 耳鼻科検診 1年生を迎える会
17	木	交通指導 委員会 全国学力・学習状況調査(6年) 標準学力調査(2～5年)
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	交通指導・少年団 身体測定
22	火	身体測定
23	水	避難訓練①
24	木	歯科検診 代表委員会
25	金	ふれあい手紙(6年)
26	土	参観日・PTA総会・個人面談 PTA歓送迎会
27	日	
28	月	代休
29	火	昭和の日
30	水	
5月の主な予定		
1	木	視力検査 表札訪問
2	金	視力検査 表札訪問 引き落とし日
8	木	委員会 歯科検診 PTA引継会
9	金	交通指導 尿検査
12	月	心臓検診
16～17		5年合宿
19	月	5年代休
20	火	交通指導・少年団
22	木	交通安全教室
27	火	プール掃除
29	木	内科検診 代表委員会
30	金	人権教育参観日

予定は変更になる場合があります。ご了承ください。

お知らせ
西村教頭は7月初旬ま

教職員紹介

校 長	小林祐美子	養護講師	北川明日香	研修コーディネーター	松崎加余子
教 頭	西村 智子	栄養講師	沖 桃子	特別支援教育支援員	松岡久美子
なかよし1	吉村 昌美	主 事	刈谷 聡太	特別支援教育支援員	岩崎 豊彦
なかよし2	梶谷 圭	用務員	三本 良次	外国語支援員	竹下 智加
1 年	中島小百合	調理員	中西 昌江	A L T	Emiko
2 年	宮田 正志	調理員	延本 暁	学習支援員	山本 和子
3 年	瀧口 善大	調理員	窪川 朋美	学習支援員	塹江 まほ
4 年	谷村 千代	校務支援員	島内 雅子	学習支援員	大迫 望
5 年	猪野 明子	図書支援員	中田 収美	小1サポーター	山中 洋子
		ICT支援員	片岡美由紀	教 諭(育休中)	間島 彩

”抱きしめるという会話”

20年程前ですが、AC(公共広告機構)の「抱きしめるという会話」というCMが流れていました。

『子供の頃に抱きしめられた記憶は、人の心の奥の方の大切な場所にずっと残っていく。そうして、その記憶は、優しさや思いやりの大切さを教えてくれたり、ひとりぼっちじゃないんだって思わせてくれたり、「そこから先は行っちゃいけないよ。」って止めてくれたり、死んじやいたいくらい切ないときに、支えてくれたりする。子供をもっと抱きしめてあげてください。ちっちゃな心は、いつも手をのばしています。』

当時、とっくに成人していた私でしたが、その少し前に落ち込んでいた私を「大丈夫、大丈夫。」と家族が抱きしめてくれたことを思い出し、涙が止まりませんでした。そして、幼い頃の抱きしめられた記憶もよみがえり、何とも言えない幸せな気持ちに包まれたことを今でも時々思い出します。

読まれる方によってそれぞれ抱く思いは違うと思います。でも、「あなたの良いところはね…」と教えることは私たち大人の大事な役割です。「あなたにはこんな良さがある」「あなたは大事な存在なんだよ」「あなたはいなくてはならない存在です」と伝えるのは、私たち大人の大事な責務です。これからは共に伝え続けていきましょう。「抱きしめるという会話」一取り組みでみませんか。